

令和4年度第2回春日井市健康施策等推進協議会議事録

- 1 開催日時 令和4年10月4日（火）午後2時から午後3時まで
- 2 開催場所 春日井市役所 南館4階 第3委員会室
- 3 出席者
  - 【会長】 中部大学教授 下村吉治
  - 【副会長】 春日井市医師会副会長 高木健太郎
  - 【委員】 春日井市歯科医師会副会長 中田幸成  
春日井市薬剤師会副会長 塚本知男  
春日井保健所健康支援課課長補佐 米井ちさと  
春日井市食生活改善協議会会長 飯塚富恵  
春日井市私立幼稚園協議会・桜ヶ丘幼稚園園長 馬場雅子  
市民代表（公募委員） 吉本直美  
春日井市手をつなぐ育成会会長 服部浩子
  - 【事務局】 健康福祉部長 山口剛典  
健康増進課長 神戸洋史  
健康増進課長補佐 加藤美子  
健康増進課長補佐 白石大介  
健康増進課 主査 川口良子  
健康増進課 主査 矢野和泉  
健康増進課 主査 犬飼淳司  
健康増進課 主事 林正樹
  - 【傍聴者】 なし

#### 4 議題

- (1) 次期健康計画策定に向けた実態把握（アンケート）調査について
- (2) 次期健康計画における重点課題等について
- (3) その他

#### 5 会議資料

資料1 次期健康計画策定に向けたアンケート調査票(最終案)

資料2 平均寿命と健康寿命について

参考資料 次期健康計画の重点課題について

参考資料 国の次期プランに関する資料

#### 6 議事内容

議事に先立ち、事務局挨拶を行った。

議事録の署名は、会長及びあらかじめ会長が指定する委員（高木委員）とすることで了承を得た。

##### 議題(1) 次期健康計画策定に向けた実態把握（アンケート）調査について

###### 【下村会長】

はじめに、議題(1)「次期健康計画策定に向けた実態把握（アンケート）調査について」、事務局より説明をお願いします。

###### 【事務局・川口】

資料1に基づき説明。

###### 【下村会長】

議題(1)について、事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はありますか。

###### 【米井委員】

『幼児保護者』の調査票1ページの間4、5において子どもの朝食についての質問がありますが、外国人の子どもも調査の対象となりますか。

###### 【事務局・川口】

春日井市に在住の方に配布する予定ですので対象となります。しかし、基本的に読めないという回答は難しいため、そのあたりの配慮は必要かと思えます。

#### 【米井委員】

コロナ関連の仕事をしている時、外国人の方から、お弁当を注文したいが今は断食の期間のため、断食が終わった後から欲しいということがありました。そうすると、断食などの文化がある外国人の場合は、どのように回答すべきか悩まれるのではないかと思います。可能な限りでご配慮いただけたらと思います。

また、4ページ問20の8番で「食に対する体験をさせる」と記載がありますが、具体的にどういうことかが、イメージしにくいと思います。『児童・生徒用』の5ページ問31には同じような内容で、家庭菜園、果物狩りなどの記載があるため、カッコ書きなどで、記載するとわかりやすいと思います。

『一般成人』の2ページ問11の「自分の体型をどう思いますか。(〇は1つ)」の質問において、カッコの右側が抜けているので入れておいていただければと思います。

#### 【下村会長】

「食に対する体験をさせる」について、私も具体例を追記したほうがよいと思いました。

『幼児保護者』の記入にあたってのお願いの1行目に記載されている回答対象となる子どもを指定する説明文について、ここを読み飛ばすとわからなくなるので、太字にして目立つようにしたほうがよいと思います。

『一般成人』の問21に「1回30分以上の運動をどのくらいの頻度で実施していますか。」という質問がありますが、30分というかたちで区切ると、25分だから違うと考える人もいるので、30分程度、またはそれ以上に変更していただいたほうがよいと思います。

#### 【飯塚委員】

このアンケートは、どの世代をどれくらい調査するのか教えてください。

また、前回の計画策定時等にもアンケートを行ったと思いますが、どれくらいの回収率があったのでしょうか。一般成人のアンケートをやってみたのですが、最後まで到達するのが結構大変でした。これだけ量が多いと回収率がどうなのか気になったため教えてください。

#### 【事務局・川口】

今回のアンケートは、妊産婦400人程度、乳幼児の保護者500～600人程度、小学生・中学生各850人程度、高校生1,000人程度、一般成人は19～39歳の青年期、40～64歳の壮年期、65歳以上の高齢期で各1,000人程度を対象に行う予定です。統計学上、ある一定数母数がある場合、それ以上増やしても、400のサンプリングがあれば、信用度が95%程度になると言われております。前回は、妊産婦は健診時に回答及び回収を行い、おおよそ100%の回収率です。乳幼児の保護者においても同様の方法をとっており、80%以上の回収

率がありました。小中高生に関しては、紙での回収で50～60%、一般成人はおおよそ50%程度の回収率でした。今回Webでの回答も可能にしたということで、どの程度まで回収率をのばせるかということはありませんが、目標の400サンプリングは回収したいと考えております。最初の配布を行い、足りない場合は追加で配布するなど工夫をしていきます。また、『一般成人』の調査票において、最後まで回答しようとするにすごく時間がかかることは私たちも気にしておりました。そのため、前回よりはかなり項目数を削減しましたが、それでもかなりの項目数がありますので、できる限り10分以内で回答いただける内容に努めていきたいと思っております。

**【飯塚委員】**

ありがとうございました。よくわかりました。

**【下村会長】**

こちらから出向くと回収率はよいですね。大学でも教室で配布、回収すると回収率は良いのですが、やっってくださいと配布するだけではなかなか回収できません。

**【塚本委員】**

対象者の1,000人や850人は市で選ばれるのですか。

**【事務局・川口】**

小学校・中学校は市内の学校を東西南北で地区を割りし、各地区において人数が偏らない程度で学校を選別し、対象学校に配付する予定です。

**【塚本委員】**

一般成人はどのようにされるのですか。

**【事務局・川口】**

一般成人は住民票をもとに完全に無作為で抽出します。

**【塚本委員】**

紙の場合、たくさんあると集計するのが大変だと思いますが、Webで実施するなら、もったたくさん案内を出してみてもどうですか。

**【事務局・川口】**

たくさん配布するのも1つだと思います。しかし、先ほどご説明しましたように、統計学上では、母数を増やしても、ある一定以上になると、サンプリングが400あれば、傾向が読めると言われております。

**【塚本委員】**

1,000人程度配布すれば、400人程度回答がある想定ということですね。

**【事務局・川口】**

前回の回答率をもとに算出したため、少し不安な面はありますが、万が一、不足する場合は随時追加をしていきたいと思えます。

【中田委員】

今の小学生がどれくらいスマホを持っているかわからないのですが、持っていないとすると、親のスマホを使って答えるということになるので正直な回答が出にくい気がします。小学生だけ筆記にするなどは考えていないのでしょうか。

【事務局・川口】

現在、小中学校では生徒1人に対し1台のタブレットを配布しており、そちらで回答いただけないかということで調整を行い、了解いただけましたので、今回Webで行うことにいたしました。しかし、高校ではタブレット配布は行われておらず、いろいろなご家庭があると思われ、特に配慮が必要と考えますので、両方準備し、先生の要望に応じ、対応できればと思います。

【下村会長】

先ほど、Webで行う場合は簡単に追加できるということでしたが、実際の調査期間や追加で行う期間は、どれくらいを予定しているのでしょうか。

【事務局・川口】

一般的に調査期間は2週間を超えると回答率が減るようで、2週間とされています。まず、配布後、1週間でどれくらいか確認し、そこで少なそうであればすぐに追加したいと考えております。

【下村会長】

ありがとうございます。

他にありませんか。それでは意見も出つくしたようですので、このアンケート調査票については、最終案を修正し、11月上旬にアンケート調査を実施していきます。どうぞよろしく願いいたします。

## 議題(2) 次期健康計画における重点課題等について

【下村会長】

議題(2)「次期健康計画における重点課題等について」、事務局より説明をお願いします。

【事務局・白石】

前回ご質問のあった平均寿命と健康寿命について先に説明いたします。

資料2に基づき説明。

【下村会長】

事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はありますでしょうか。

**【高木副会長】**

春日井市が公表している公的な文章に関して、健康寿命は男性が80.20歳と女性が84.40歳となっていました。一般的に我々が診察する際、全国的な統計をもとに説明することが多く、男性の場合は、平均寿命からマイナス10歳くらい、女性の場合では、マイナス12、13歳くらいだと簡単に説明しています。本日示された資料では、①は、日常生活に制限のない期間の平均ということで自分が不健康と感じる、ご自身が健診などでひっきり、病院を受診しているその年齢が不健康となっています。③では、要介護2以上を不健康としており、確かにそうだとは思いますが、実際に診察の際、要介護2というひとりで受診される方はそんなに多くはありません。ひとりで、ご自身の足で来られる方でも、要支援1、要支援2だと結構足腰も弱い印象です。要介護1は認知症などが含まれたりするので、それを健康であるかというかどうかとも思います。制度上の定義の問題ではありますが、今後、春日井市が公的な文章を出す際の、健康寿命の定義も国に合わせたほうが統計としてよいかと思います。80歳、85歳は健康すぎるのではないかと正直思います。

**【事務局・白石】**

ありがとうございます。おっしゃられたとおり、要介護2以上を用いて計算すると年齢が高く算出され、国の方法を使用すると、72歳、73歳程度と想定され、一般的ではあるかとは思いますが。しかし、他市町村も独自で計算する場合は、要介護2以上の数値を用いて計算するケースが多いため、他市町村の動向などを鑑みながら、基本的には国や県の数値を使いつつ、進めていきたいと思っています。

**【下村会長】**

この件は、前回の会議で私が指摘しましたが、全国的な数値が出ているなかで、春日井市をみると、すごく元気というように見え、違和感を覚えました。もし可能であれば、全国平均はこの値で、春日井市の平均はこの値になり、全国平均はこういった方法で、春日井市はこういった方法で算出しているというような一文があるといいかもしれません。要介護1以上にするとおそろく下がりますよね。

**【事務局・白石】**

分母はかわらず、分子が増えるため、それにともない年齢も、現在、男性80.20歳というのが70歳代までおちてくると考えられます。

**【下村会長】**

また参考になると思いますので数値の算出をお願いします。

**【事務局・神戸】**

続きまして、次期健康計画における重点課題等についてご説明させていただきます。  
参考資料に基づき説明。

【下村会長】

事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はありますでしょうか。

【事務局・神戸】

かなり広範のため、一度お持ち帰りいただき、次回、ご意見をいただければと思います。また今後も、国からもう少し具体的な発表があるかと思えます。

【下村会長】

資料を拝見して、今回のアンケート調査を行うということは、よい手法だと思いました。そして、その結果をもとに内容を練っていただけるとよいかと思います。どうしても一部の方が強調して言われることについて、施策等が偏りがちになるとよくないため、なるべくデータをとり、それに基づいて検討いただければと思います。

**議題(3) その他**

【下村会長】

議題(3)その他について、何かございますか。

【事務局・神戸】

次回の協議会の日程ですが、ご意見にもありましたように、アンケート結果に基づき課題等を検討することが大事だと思いますので、来年2月下旬から3月上旬を予定したいと思えます。日程は後日調整いたしますが、事前にアンケート結果からの分析資料やフリートークや議論いただきたい内容をわかりやすく記載した資料等をお渡しできたらと思えます。事務局からは以上です。

【下村会長】

それでは、これで本日の議題を終了いたしました。ご協力ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返しいたします。

【事務局・神戸】

委員の皆様におかれましては、コロナも徐々に落ち着いてきているとはいえ、まだまだ大変な状況が続いております。そのような中、本日はご参加いただきありがとうございました。以上をもちまして、令和4年度第2回春日井市健康施策等推進協議会を終了させていただきます。お帰りの際、お気を付けてください。お忙しいところ、ありがとうございました。

上記のとおり、令和4年度第2回春日井市健康施策等推進協議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの議事録を作成し、会長及びあらかじめ指定する委員1名が署名する。

令和4年12月19日

会 長 下村 吉治

署名人 高木 健太郎